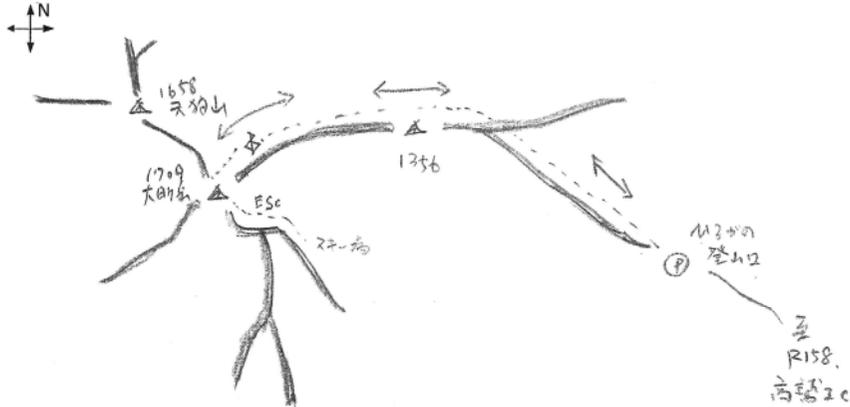


# 大日ヶ岳(ひるがの登山口より)

2025年4月5日(土)~4月6日(日) L: 齋藤



## 4月5日(土) 晴れのち曇り

大日ヶ岳で手塚L主催の雪山交流山行がある。ということで私も後追い参加の計画を立てた。

仕事を終えてから岐阜県へ。急いで車を走らせたが、登山口を出発できたのが20:35。これから約4時間、山頂付近で催されているであろう宴会場に向けて、自身としては初体験となる夜の雪山山行が始まる。この日の天気予報は昼間が晴れ。時間と共に低気圧が近づき、土曜夜から日曜にかけて雨または雪。日曜の天気図を頭に思い浮かべながら、風も強くなりそうだし無事に皆と合流できるのだろうか?と思いながら出発。



## 除雪作業ありがとうございますっ

手塚Lからは幕营地付近はガスガスだよと情報をもらっていたが、登山口付近はノーガス。ノーガスではあるけれど、ヘッドランプ程度の照度では先行者のトレースが分かりにくい。



### トレースはどれよ？

標高が上がるにつれてガスが出始めた。だんだんと濃くなってきて視界は 5m 未満。完全にコンパス頼り。



### 頼むよ、コンパス



### ちょっと怖いな

見通しが悪く、目の前にいきなり斜面が現れる。そんな山歩きを続けていたの

だが少し異変が起きた。1356m の小ピークを越えたあと、ちょっと下ったらまた登りのはずなのに、どうも下り過ぎている。それらしい道も見当たらない。ん？道を間違えたか？スマホを取り出して軌道修正。トラバースしながら尾根へ復帰した。それにしても登りでルートを外れるとはね。

なぜ間違えたのか。ちょっと考えたい。



### 50m 程度の間違いではあるが

1273m から A に向かい、そこから 1356m へ向けてコンパスを合わせた。なだらかな尾根を登っていけば 1356m。本来ならばここで次の 1396m へ向けてコンパスを合わせるべきであったが、その角度が数度であったため、コンパスが指し示してくれた若干のズレを許容範囲だと勘違いしてしまい、そのまま B 方向へ向かってしまった。本来のルートは 1356 からすぐに小コルがあるはずだから下ることになる。迷いも感じなかったことも影響している。下り過ぎて、あれっ？と思えたことが救いだ。やはり夜間&ガスで見通しが悪いというのは大きなリスクである。

ルート復帰後は今まで以上にコンパスを確認しながら歩き続けた。早く着きたいので休憩無し。行動食は今のところキャラメル2個。でもあと約4kmもある。風が強くなってきて、冬独特の冷たくて風を切るような音の響きに少々恐怖感を覚える。低気圧がきている最中なのに夜間に雪山登るってあんまりよくないなって改めて思う。

1396 から西へ約1.5km。尾根は大日ヶ岳に向かって南西に切り返す。視界がめちゃくちゃ悪いけど、あと1km圏内にみんながいるはず。

歩いていると右手に突然緑色のテント群が現れて驚いた。着いたよ～。ほっとした瞬間でもある。しかし、どのテントも電気は点いていない。予定されていたイグルーも無い。これはみんな寝ちゃったな、と思い、仕方がないので雪洞を掘って朝を迎えようと少し下へ降りたら雪の中からヘッドランプの明かりが見えた。あら、イグルーではなく雪洞だったのか。時刻は23:58。出入り口のツェルトをめくると、最初に見えたのが花村さん。その左に柴田さん。みなさん起きて待っていてくれた(いや、ほぼ寝ていた?(苦笑))。ありがとうございます!

早速、宴会に参加させていただき、ビールも日本酒も飲んで、宮本さんと石田さんがメのラーメンまで作ってくれた。おいしかった～。ということで宴会は1:25にお開き。大きな雪洞で寝てもよい

のだが、良い機会なのでソロ雪洞を掘ることにした。横になって寝られるサイズで十分。スタート1:30。目標30分。



まずは下に向けて穴を掘って



次は横に向けて掘ってって～



棺桶状態で寝袋すっぽり

時刻は2:15。45分か。意外とかかったな。



5:10 トイレで起きた。天気わる～



寝心地よかったぞ。ソロ雪洞



7:10 朝ごはん。



無人となった宴会場



みんな出てこないなあ。真横から降雪



9:00 みんな揃って出発

この日はビーコン訓練の予定であったが天候不良のため中止。下山となった。大日ヶ岳を通過して高鷲スノーパークのゴンドラへ。よかった～。こんなこともあるうかと ESC ルートを書いておいて(笑

今回の山行はとても勉強になった。山登りは地形図とコンパス。ガスや雪や夜間で視界が悪いときは今まで以上に位置確認を怠らない。これ、大事。と改めて感じた。そして吹雪はなかったけれど、何より低気圧が来ている状況下で不安な中、夜間の雪山に登り、穴を掘って寝て、万全の体調で翌朝を迎えられたことは大きな自信となった。

<タイム>

ひるがの登山口 P(20:35)-幕営地合流  
(23:58)-終宴(1:25)-穴掘り開始(1:30)-穴掘り完了(2:15)-起床(7:00)-下山開始(9:05)-  
ゴンドラ利用で高鷲スノーパーク P

(齋藤 記)